

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/29号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

債務上限引き上げ問題大詰め

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前週もゴールドは35ドル下げて終わり、これで三週間連続の下げとなりました。これだけの下げながら年初からの動きはまだ6%の上昇を保っています。前週の下げは金曜日に発表された5月の消費者態度指数と個人消費支出（PCE）物価指数ともに市場予想を上回り、5%近いインフレ率は、FRBにとって利上げを継続する十分な理由と受け取られ、それがさらなるドルの買いそしてゴールドの売り材料と判断されました。これでCME FedWatchによる6月の利上げの確率は0.25%が利上げ無しを上回る64.2%となり、これまでの金利据え置きの見方がここで大きく修正され、マーケットには再利上げが織り込まれて、それがこのゴールドの下げにつながっています。この変化はほぼ180度の変化と言ってもいい大きな変化で、ゴールドに対してもこれまで下げて一時的としていた向きもここで大きくその態度を変えようとしている可能性があります。マーケットが考えていた年内の金利下げへの動き、それが織り込まれて上昇していたゴールドにとっては、少なくとも短期的には低位推移を強いられることになる可能性が高くなってきたのではないかと思います。1940ドルがサポートで、場合によっては1900ドルという次のサポートへの動きも考えられるでしょう。これに加えて、債務上限引き上げ問題で交渉中のバイデン大統領と共和党マッカーシー下院議長の協議は、2年程度の引き上げを軸に合意に近づいていると米メディアの報道され、それもまたマーケットにとっては不安材料の縮小、ドル、株へのリスクオンの動きを加速させた形となりました。しかし、マーケットクローズ後には、共和党の交渉テーブルについている議員からは、いくつかの点で進歩はあったが、まだ大きな隔たりも残っていると発言があり、マーケットが楽観視するほど状況は落ち着いていないのが現状であり、これは週明けのゴールドの動きにも影響を与えるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

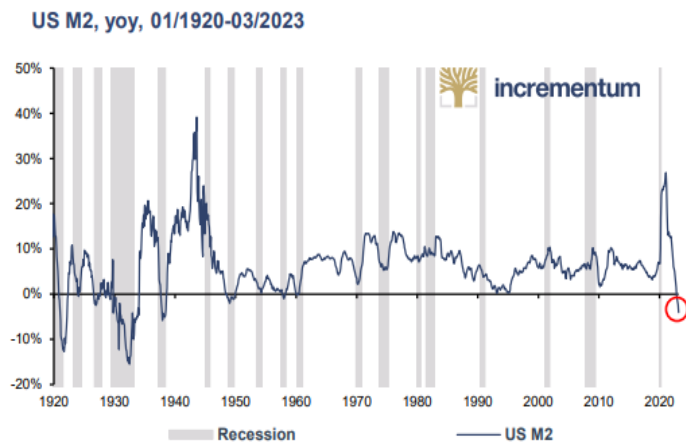
金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「In Gold We Trust Report」

Incrementumという会社から毎年出ている「In Gold We Trust 2023」が発表されました。ヘッジファンドの視点からの経済とゴールドに関するレポートです。これが418ページもある大著なわけですが、めくってみる価値は十分あるものです。その中で気になるものをあげてみましょう。まず一つは米国のマネーサプライM2（通貨供給量）が1950年代から初めて月ベースでマイナスとなり、年次ベースでは大恐慌以来の出来事になりました。歴史的にみて、マネーサプライが年次ベースで減少したときには、銀行危機、景気後退もしくはデフレーションが起きている。これらは第二次世界大戦前に頻繁に起こっていましたが、そのために預金保険が導入され（1933年）、FRBが「最後の貸し手」としてその役割を果たしてきました。その結果、大恐慌以降はマネーサプライが年次ベースで縮小したことはありません。その点では今回は大恐慌以来初めての出来事であり、現在の金融システムが試されていると言っていいでしょう。ここで過去と同じような不況に陥れば、それはふたたび大規模な景気刺激策に頼ることになり、それは最終的にはさらなるそしてより大きなインフレの種をまくという結果を呼び起こします。それがゴールドのさらなる上昇につながるとみています。

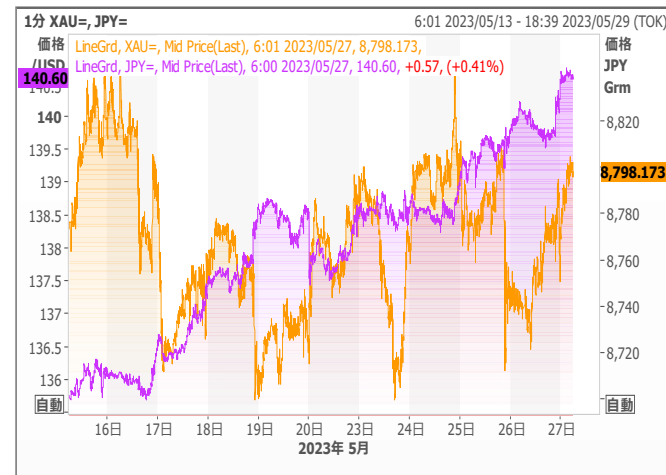
(米国M2の動き 1920/01-2023/03)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

